

高校生をもつ保護者の皆さまへ

# 地方の 国立大 の魅力

〔金銭編〕

地方の家賃は  
どれくらい？

授業料  
免除制度って？

ひとり暮らしが心配

4年間で  
生活費いくら？

アルバイトは？

奨学金は？

毎月の  
仕送りは？

親離れ？

# はじめに

2018(平成30)年8月、東京都立昭和高校で開催された「地方国公立大学合同説明会」に参加した保護者と生徒を対象に「地方国公立大学を志望校として検討する場合、課題となるものは何か。(複数回答可)」と訊ねたところ、次のような結果となりました。

## 〈保護者〉

(n=136)

| 地方国公立大学を志望校として検討する場合、課題となるもの | 件数 | %    |
|------------------------------|----|------|
| 1.生活費の負担                     | 73 | 53.7 |
| 2.ひとり暮らしの不安                  | 67 | 49.3 |
| 3.卒業後の進路                     | 45 | 33.1 |
| 4.受験科目の負担                    | 36 | 26.5 |
| 5.大学の様子がわからない                | 29 | 21.3 |
| 6.受験会場が心配                    | 18 | 13.2 |

## 〈生徒〉

(n=263)

| 地方国公立大学を志望校として検討する場合、課題となるもの | 件数  | %    |
|------------------------------|-----|------|
| 1.生活費の負担                     | 119 | 45.2 |
| 2.ひとり暮らしの不安                  | 108 | 41.1 |
| 3.大学の様子がわからない                | 72  | 27.4 |
| 4.受験科目の負担                    | 64  | 24.3 |
| 5.卒業後の進路                     | 58  | 22.1 |
| 6.受験会場が心配                    | 38  | 14.4 |



## 01. 大学を取り巻く環境 ～昔と今の違い～

→ P04~05

## 02. 大学生の現状 [支出面] ①概要 ①学費 ②生活費

→ P06~09

## 03. 大学生の現状 [収入面] ①概要 ①仕送り ②奨学金 ③アルバイト

→ P10~15

## 04. 保護者の皆さまへの メッセージ

→ P16

## CONTENTS [目次]

本紙は、保護者の皆さまが子どもの大学進学を検討される際に必要となる、金銭面についてとりまとめています。以下の流れで情報を整理しています。

まず、保護者の皆さまには、大学を取り巻く環境と社会情勢を、**ご自身が高校生だった頃(30年前と仮定)と現在を比較していただきます(01)**。

その上で、大学進学後、大学生として生活する上で必要なお金について、**支出面(02)と収入面(03)**から確認をしていただきます。支出面においては「学費」と「生活費」の2点について詳しく説明します。収入面においては「仕送り」「奨学金」「アルバイト」の3点について説明します。

ちょっとその前に・・・

大学進学にかかる「費用」を考える前に、大学を卒業して社会人になって得る「賃金」について確認しましょう。右ページのグラフは、厚生労働省による学歴・性別・年齢階級別賃金の調査結果です。上段が2020(令和2)年度、下段が2001(平成13)年、左側が男性、右側が女性のグラフとなっています。これらを比較すると、学歴によって同じような差があることが分かります。

地方の国公立大学を志望校として検討するのに“課題”として挙がったものは、保護者・生徒ともに、**1位が「生活費の負担」、2位が「ひとり暮らしの不安」**でした。約半数の保護者と、4割以上の生徒が、この2つが“課題”と回答しました。特に保護者にとっては、大きな懸念材料であることがわかりました。

住み慣れた地元を離れ、地方の国立大学へ進学する際、“生活費”や“ひとり暮らし”に関する情報は、保護者や生徒の皆さまにとってきわめて重要です。しかし、これまで大学側は遠方の保護者・生徒にとってわかりやすい情報を、十分に提供できておりませんでした。

これから大学受験を控える保護者と生徒の皆さまにとって、安心して地方の国立大学を進学先として検討していただけるよう、本紙を企画し制作しました。限られた紙面で情報をコンパクトにまとめているため、テーマによっては詳しい説明を割愛している箇所があります。特に「奨学金」については、制度の詳細が毎年変わるものがあります。各種運用団体のHP上で、最新情報を必ずご確認ください。奨学金制度や進学にかかる金銭面について、より詳しくわかりやすくまとめられた図書を、以下にご紹介しておきますので参考にしてください。

#### 参考図書

- 久米忠志(2012)『子どもを大学に行かせるお金の話—年収200万でもあきらめない!— 主婦の友社
- 給付型奨学金研究会編(2016)『大学進学のための全国“給付型”奨学金データブック[最新版]』産学社
- 柴田武男・鴨田譲編 埼玉奨学金問題ネットワーク著(2018)『奨学金 借りたとき 返すときに読む本』弘文堂
- 竹下さくら(2018)『「奨学金」を借りる前にゼッタイ読んでおく本』青春出版社
- 本山勝寛(2018)『今こそ「奨学金」の本当の話をしよう。—貧困の連鎖を断ち切る「教育とお金」の話—』ポプラ社

#### 国の奨学金

日本学生支援機構(JASSO)HP 奨学金  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>



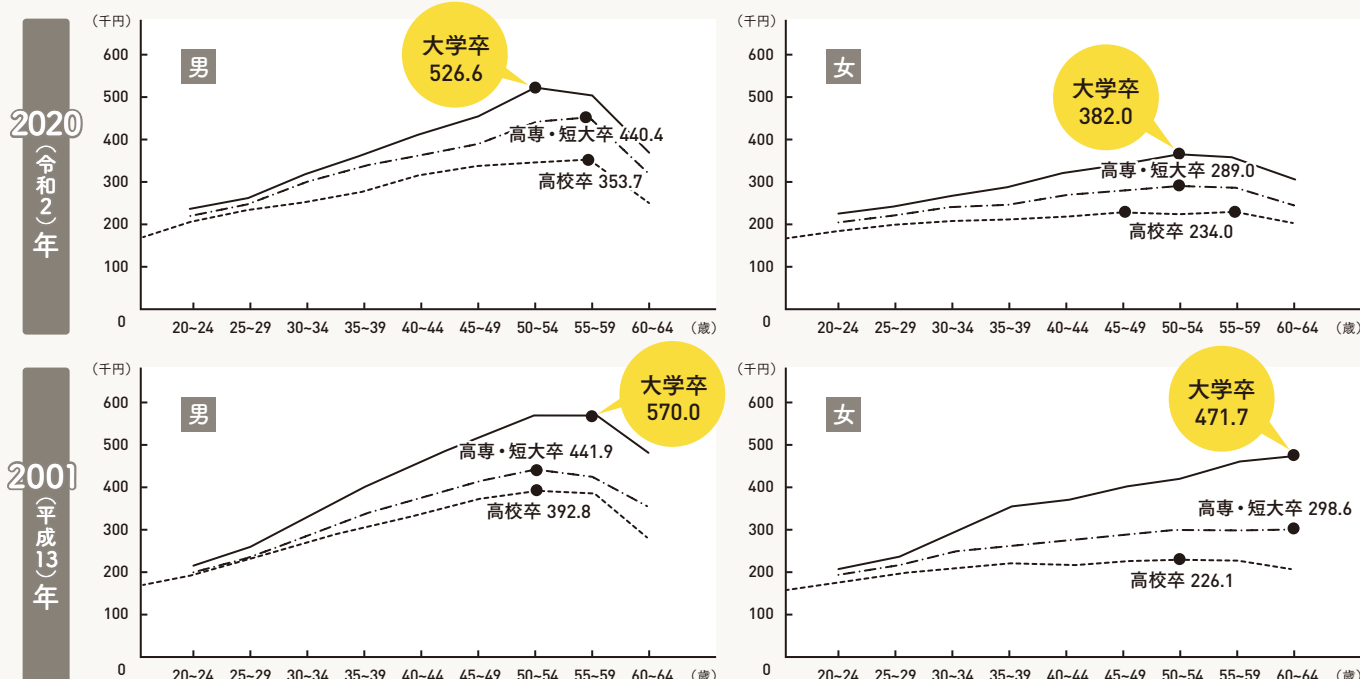
#### 国の教育ローン

日本政策金融公庫HP 教育一般貸付  
<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>



## 学歴、性、年齢階級別1ヵ月の賃金

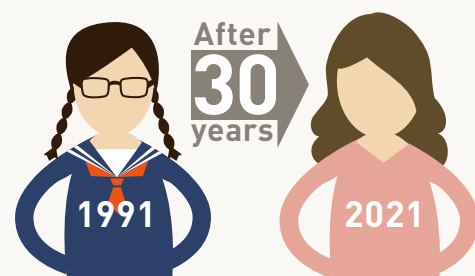
e-Stat 厚生労働省 賃金構造基本統計調査より  
 2020(令和2)年と2001(平成13)年の6月分の賃金等



## 01.

## 大学を取り巻く環境～昔と今の違い～

約30年前、保護者の皆さまが高校生だった頃の  
“大学進学”と、現在の高校生の“大学進学”では、  
社会的状況が大きく変化しています。  
大学を取り巻く環境について、整理します。



30年前の1991(平成3)年、204万人だった「18歳人口」は、  
2021(令和3)年には114万人と4割以上も減少。



30年前の1991(平成3)年、25.5%だった「大学進学率」は、  
2021(令和3)年には54.9%と2倍以上に上昇。

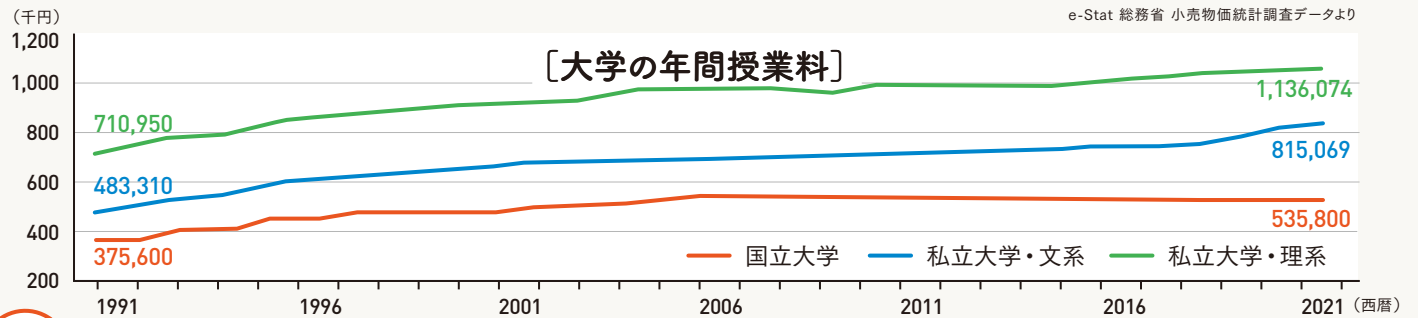


ピークの1992(平成4)年の167万人の高卒求人は、約20万人まで低迷、  
その後、40万人台で推移していたが、コロナ禍で30万人台に。

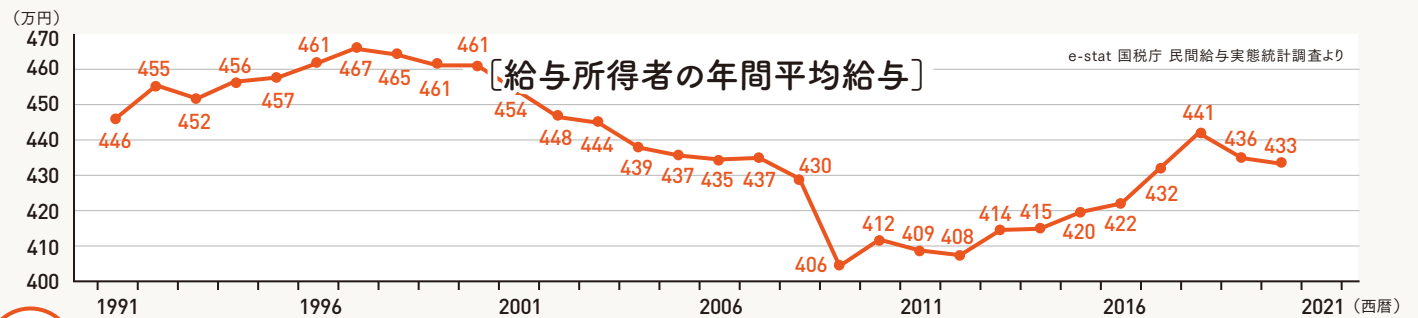


景気トレンドの影響を受けやすく超氷河期時代に約40万人だった。  
近年は80万人まで回復していたが、2021(令和3)年にはコロナ禍で60万人台に。





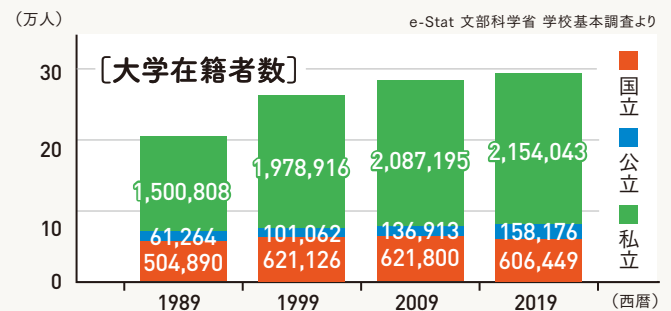
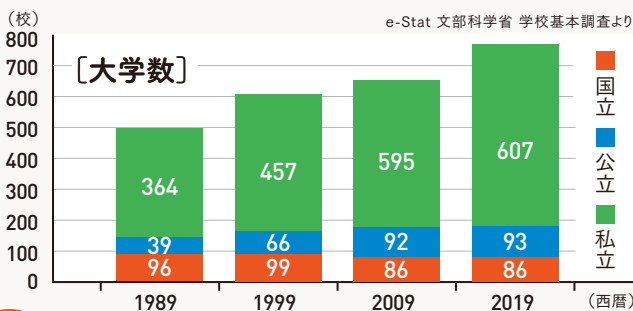
年間授業料は、国立大ではこの10年間横ばい(54万円)の一方、私立大は文系・理系ともに上昇傾向。



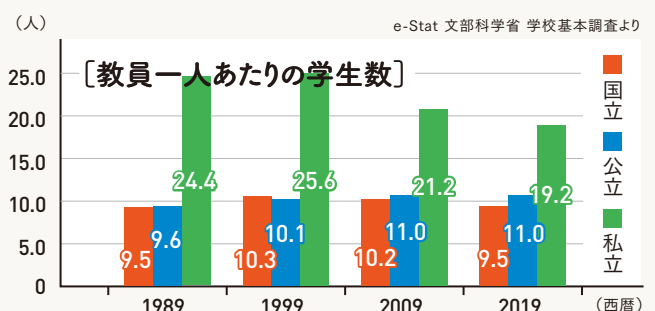
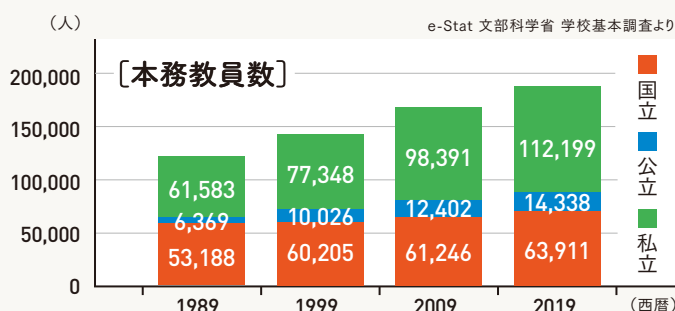
民間事業所に勤務する給与所得者の平均給与は、2000年以前の状況までには回復せず。



奨学金の受給は、約30年前で「5人に1人」(約2割)だったが、近年では「2人に1人」(約5割)が受給。



この30年間で、国立大学は10校減で在籍者数10万人増、私立大学は240校増で在籍者数は60万人増。



この30年で教員数は国公立とも増。教員1人あたりの学生数(ST比)は国公立大変わらず。

現在の大学生の「支出」はどのようになっているのでしょうか。

日本学生支援機構(JASSO)が2年に1度、全国の大学生を対象に実施している『学生生活調査』の2020(令和2)年度の結果によると、年間の学生生活費は大学(昼間部)で合計181万円でした。その内訳は学費115万円、生活費66万円で、大学区別では、国立大で合計143万円(学費59万円+生活費84万円)に対して、私立大で合計193万円(学費131万円+生活費62万円)でした。

[支出] =  
①学費+  
②生活費



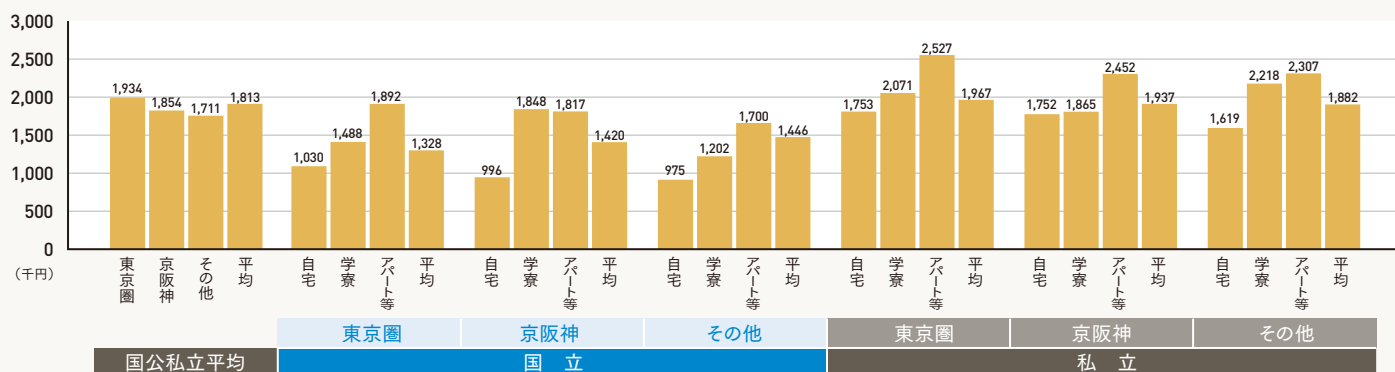
|       |           |           |
|-------|-----------|-----------|
| ① 学費  | 授業料       | 914,900   |
|       | その他の学校納付金 | 122,000   |
|       | 修学費       | 46,800    |
|       | 課外活動費     | 20,300    |
|       | 通学費       | 44,700    |
|       | 計         | 1,148,700 |
| ② 生活費 | 食費        | 160,000   |
|       | 住居・光熱費    | 190,900   |
|       | 保健衛生費     | 41,200    |
|       | 娯楽・嗜好費    | 130,300   |
|       | その他の日常費   | 141,900   |
|       | 計         | 664,300   |
| 合 計   |           | 1,813,000 |

(単位:円)

| 区 分     |     | ① 学費                 |                     |           | ② 生活費        |                                |         | 合 計       |
|---------|-----|----------------------|---------------------|-----------|--------------|--------------------------------|---------|-----------|
|         |     | 授業料<br>その他の<br>学校給付金 | 修学費<br>課外活動費<br>通学費 | 小計        | 食費<br>住居・光熱費 | 保健衛生費<br>娯楽・し好費<br>その他の<br>日常費 | 小計      |           |
| 大学（昼間部） | 国 立 | 490,900              | 101,100             | 592,000   | 534,800      | 305,000                        | 839,800 | 1,431,800 |
|         | 公 立 | 506,000              | 99,000              | 605,000   | 449,400      | 318,500                        | 767,900 | 1,372,900 |
|         | 私 立 | 1,195,700            | 115,000             | 1,310,700 | 303,100      | 314,800                        | 617,900 | 1,928,600 |
|         | 平 均 | 1,036,900            | 111,800             | 1,148,700 | 350,900      | 313,400                        | 664,300 | 1,813,000 |

(単位:円)

年間の学生生活費(総支出)について、国私別・地域別・居住形態別でみたグラフが以下です。地域別は「東京圏・京阪神・その他」の3区分、居住形態別は「自宅・学寮・アパート等・平均」の4区分となります。「私立・自宅」の東京圏で175.3万円、京阪神で175.2万円、その他で161.9万円に対して「国立・アパート等」のその他170.0万円で都市部よりも安めとなります。



### 受験から入学までにかかるお金は？

大学に入学してからのかかる費用は想像しやすいところですが、受験から入学までにかかる諸経費も大きな額となります。「思わぬ出費」とならないよう、事前に準備しておくことが必要になります。

入学までにかかった費用・国公立(住まい別)

(単位:円)

| 受験から入学までにかかった費用の項目                                      | 国公立       |           |           | 私立        |           |           |
|---------------------------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                                                         | 平均        | 自宅        | 下宿        | 平均        | 自宅        | 下宿        |
| 出願のための費用(受験料/願書を取り寄せた費用)                                | 115,600   | 118,300   | 114,100   | 144,100   | 146,700   | 142,500   |
| 受験のための費用(交通費/宿泊費/滞在費)                                   | 60,800    | 28,200    | 76,800    | 45,000    | 28,600    | 71,400    |
| 入学した大学への納付金(入学金/授業料/施設拡張費・寄付金・学校債・その他)                  | 646,200   | 644,500   | 648,100   | 966,000   | 955,500   | 987,600   |
| 入学しなかった大学への納付金(入学金/授業料/施設拡張費・寄付金・学校債・その他)               | 278,700   | 280,900   | 276,800   | 296,400   | 296,200   | 298,700   |
| 合格発表や入学手続きのための費用(交通費/宿泊費)                               | 37,100    | 8,700     | 51,200    | 25,000    | 11,500    | 47,500    |
| 入学式出席のための費用(交通費/宿泊費/手土産代/お礼/その他)                        | 37,100    | 15,100    | 43,100    | 24,600    | 15,200    | 44,200    |
| 教科書・教材購入費用(パソコン/教科書/電子辞書本体/教材/その他)                      | 232,200   | 214,800   | 242,800   | 190,600   | 181,100   | 210,200   |
| 住まい探しの費用(交通費/宿泊費/滞在費/礼金/入館金・敷金/前家賃や日割り・その他/斡旋手数料/仲介手数料) | 210,400   | —         | 215,100   | 256,200   | —         | 260,700   |
| 生活用品購入の費用(寝具/家具/家電/インターネット契約/電話/日用雑貨/自転車/衣類など)          | 219,900   | 94,500    | 295,000   | 158,500   | 84,900    | 288,100   |
| その他の費用(引越し代/4月分の生活費/予備の貯金/保険料/お礼/お祝い返し・その他)             | 280,000   | 142,600   | 353,800   | 184,700   | 119,100   | 299,300   |
| 合 計                                                     | 1,834,300 | 1,415,300 | 2,099,400 | 2,020,700 | 1,800,000 | 2,464,400 |



全国大学生生活協同組合連合会による『2021年度保護者に聞く新入生調査』によると受験から入学前の費用は、「国公立・自宅」で約140万円、「国公立・下宿」で約210万円、「私立・下宿」で約250万円もの費用がかかります。

## 大学生を送るのに必要な『学費』はどうなっているのでしょうか。

以下は、大学への納付金（入学金・授業料・施設整備費）について、国立大・公立大・私立大（文科系・理科系・医歯系）ごとに分けて、4年（私立大医歯系は6年）でどの程度かかるかを算出したものです。

|       | 国立大                         | 公立大                         | 私立大・文科系                     | 私立大・理科系                       | 私立大・医歯系                        |
|-------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 入学金   | 282,000                     | 391,305                     | 225,651                     | 251,029                       | 1,076,278                      |
| 授業料   | 535,800 / 年×4年<br>2,143,200 | 536,363 / 年×4年<br>2,145,452 | 815,069 / 年×4年<br>3,260,276 | 1,136,800 / 年×4年<br>4,544,296 | 2,882,894 / 年×6年<br>17,297,364 |
| 施設整備費 | —                           | —                           | 148,272 / 年×4年<br>593,088   | 179,159 / 年×4年<br>716,636     | 931,367 / 年×6年<br>5,588,202    |
| 合 計   | 2,425,200                   | 2,536,757                   | 4,079,015                   | 5,511,961                     | 23,961,844                     |

・国立大は『国立大学等の授業料その他の費用に関する省令』で定める大学（学部）の納付金の標準額  
 ・公立大は文部科学省「2021年度学生納付金調査結果」（大学・短期大学95大学平均値、入学金は地域外）  
 ・私立大は文部科学省「令和3年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額の調査結果」

（単位：円）

日本学生支援機構（JASSO）が行っている『学生生活調査』の2020（令和2）年度の結果によると、大学生の実際にかかっている学費は下の表の通りです。ここには授業料等以外に「修学費」（教科書・実習材料費・文具等の購入費・実習保険料）、「課外活動費」（部活動・サークル活動）、「通学費」が含まれています。こちらも4年間で算出すると、国立大で230～250万円に対し、私立大では530万円程度となります。

### 〔1年間×4年〕

| 区 分       | 国立大・自宅    | 国立大・下宿    | 私立大・自宅    | 私立大・下宿    |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 授業料       | 1,960,000 | 1,950,800 | 4,132,800 | 4,294,000 |
| その他の学校納付金 | 41,200    | 35,600    | 605,200   | 650,000   |
| 修学費       | 200,400   | 188,000   | 183,600   | 182,800   |
| 課外活動費     | 82,800    | 107,600   | 64,800    | 93,200    |
| 通学費       | 247,200   | 34,000    | 264,800   | 70,800    |
| 合 計       | 2,531,600 | 2,316,000 | 5,251,200 | 5,290,800 |

（単位：円）



CHECK

これまで国立大学の年間授業料は、2005（平成17）年度から全国一律で535,800円（標準額）ですが、大学の判断で標準額から2割の増額が認められています。2019（平成31）年度は、東京工業大学が635,400円、東京芸術大学が上限の642,960円としました。さらに2020（令和2）年度は、千葉大学、一橋大学、東京医科歯科大学でも上限の642,960円としました。

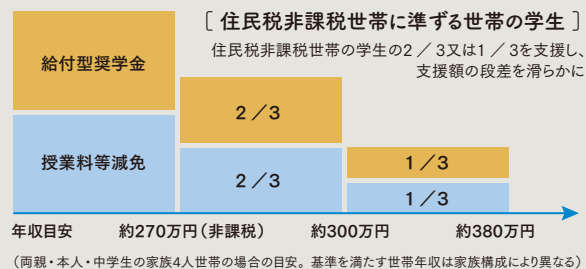
## 授業料免除制度

2020（令和2）年から国の就学支援新制度がスタートしています。住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生について、日本学生支援機構（JASSO）による給付型（返還を要しない）奨学金と合わせ、授業料・入学金が免除・減額されます。（奨学金については、12ページをご覧ください。）

### 鳥取大の場合

鳥取大学での授業料免除の状況は以下の通りです。左下の表は、2020（令和2）年度後期分の学部学生（大学院生を除く）の実績です。下の表以外で新制度において、支援の対象外となる学生が196名いました。これらの学生に対し、経過措置による支援（差額補填）を行いました。その結果、約5,200名の学部学生のうち12.3%（634名）が授業料の減免を受けました。

| 2020年度後期（学部学生）             | 支援（金額）        | 対象者数（人） |
|----------------------------|---------------|---------|
| 第I区分（住民税非課税世帯、年収目安270万円以下） | 全額（267,900円）  | 241     |
| 第II区分（年収目安300万円以下）         | 2/3（178,600円） | 129     |
| 第III区分（年収目安380万円以下）        | 1/3（89,300円）  | 68      |
| 合 計                        |               | 438     |



※免除においては、次のいずれかに該当し、本人の申請に基づき選考が行われます。免除は限られた予算の範囲内で実施するため、基準内でも免除とならない場合があります。

（1）経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合

（2）授業料納付前6ヵ月以内において、学費負担者が死亡、または本人もしくは学費負担者が風水害等の災害を受けたことにより、納付が著しく困難であると認められる場合

※「入学科」に関する「免除」「徴収猶予」の制度もあります。

## 02. 大学生の現状〔支出面〕

大学生にとって、学費以外でかかる「生活費」には、どのようなものがあるでしょうか。

全国大学生生活協同組合連合会が実施する『第56回大学生生活実態調査』によると、大学生の「1ヵ月の生活費」は、自宅生・下宿生で右ようになります。貯金・繰越を含めますが支出合計でみると、自宅生で約6万円、下宿生で約12万円となっています。下宿生の大きなコストとなっているものはやはり「住居費」で、5.3万円となっています。自宅生の場合、このコストを抑えることができますが、交通費は逆に自宅生の方が高くなっています。

下宿生における「住居費」とは、つまり、ひとり暮らしにおける家賃です。この家賃代は、全国一律では決ってありません。当然ながら、家賃が高い地域もあれば、安い地域もあります。

右の表は総務省の小売物価統計調査（令和2年結果）の「住居」に関する都道府県ごとの地域差指数です。全国平均を100とした場合、東京都が134.5で最も高く、鳥取県は82.0で最も低くなっています。人口密度が高い首都圏だけが全国の中で高く、地方ほど低い指数となっています。鳥取県のみならず、**地方ほど住居費を低く抑えることができます。**

以下にひとり暮らしをした場合、大学4年間にかかる住居費（家賃総額）を想定算出したものを示します。

### 4年間の家賃総額の想定算出

鳥取の安め物件だと... 1ヵ月 **2万円** × 12ヵ月 × 4年 = **96万円**

鳥取の平均的物件だと... 1ヵ月 **4万円** × 12ヵ月 × 4年 = **192万円**

東京の安め物件だと... 1ヵ月 **6万円** × 12ヵ月 × 4年 = **288万円**

東京の平均的物件だと... 1ヵ月 **8万円** × 12ヵ月 × 4年 = **384万円**

もし1ヵ月の家賃が**2万円**違えば、4年間で **約100万円の差**

もし1ヵ月の家賃が**4万円**違えば、4年間で **約200万円の差**

もし1ヵ月の家賃が**6万円**違えば、4年間で **約300万円の差**

全国大学生生活協同組合連合会  
「第56回（2020年）大学生生活実態調査『1ヵ月の生活費』」

| 1ヵ月の生活費（支出） | 自宅生           | 下宿生            |
|-------------|---------------|----------------|
| 食費          | 10,670        | 24,570         |
| 住居費         | 960           | 52,910         |
| 交通費         | 7,160         | 3,370          |
| 教養娯楽費       | 10,750        | 10,990         |
| 書籍費         | 1,740         | 1,850          |
| 勉学費         | 1,420         | 1,870          |
| 日常費         | 6,300         | 7,120          |
| 電話代         | 1,730         | 3,370          |
| その他         | 1,790         | 2,140          |
| 貯金・繰越       | 19,610        | 12,990         |
| 合計          | <b>62,130</b> | <b>121,180</b> |

（単位：円）

令和2年度小売物価統計調査（住居）結果（総務省統計局）  
（[https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/nenpou\\_2020.html](https://www.stat.go.jp/data/kouri/kouzou/nenpou_2020.html)）  
を加工して作成

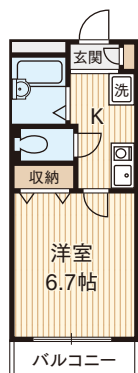
|    | 都道府県 | 地域差指数        |    | 都道府県       | 地域差指数       |
|----|------|--------------|----|------------|-------------|
| 1  | 北海道  | 86.1         | 25 | 滋賀県        | 91.9        |
| 2  | 青森県  | 86.4         | 26 | 京都府        | 101.1       |
| 3  | 岩手県  | 90.6         | 27 | 大阪府        | 96.7        |
| 4  | 宮城県  | 96.9         | 28 | 兵庫県        | 96.2        |
| 5  | 秋田県  | 82.1         | 29 | 奈良県        | 85.8        |
| 6  | 山形県  | 93.2         | 30 | 和歌山県       | 90.7        |
| 7  | 福島県  | 90.8         | 31 | <b>鳥取県</b> | <b>82.0</b> |
| 8  | 茨城県  | 91.2         | 32 | 島根県        | 88.5        |
| 9  | 栃木県  | 87.2         | 33 | 岡山県        | 83.7        |
| 10 | 群馬県  | 89.0         | 34 | 広島県        | 91.9        |
| 11 | 埼玉県  | 105.0        | 35 | 山口県        | 93.3        |
| 12 | 千葉県  | 111.4        | 36 | 徳島県        | 93.0        |
| 13 | 東京都  | <b>134.5</b> | 37 | 香川県        | 82.5        |
| 14 | 神奈川県 | 116.5        | 38 | 愛媛県        | 83.4        |
| 15 | 新潟県  | 87.2         | 39 | 高知県        | 93.8        |
| 16 | 富山県  | 93.7         | 40 | 福岡県        | 90.0        |
| 17 | 石川県  | 83.9         | 41 | 佐賀県        | 87.9        |
| 18 | 福井県  | 85.9         | 42 | 長崎県        | 92.2        |
| 19 | 山梨県  | 90.4         | 43 | 熊本県        | 91.0        |
| 20 | 長野県  | 91.5         | 44 | 大分県        | 86.0        |
| 21 | 岐阜県  | 83.8         | 45 | 宮崎県        | 88.1        |
| 22 | 静岡県  | 96.9         | 46 | 鹿児島県       | 86.4        |
| 23 | 愛知県  | 95.0         | 47 | 沖縄県        | 86.2        |
| 24 | 三重県  | 94.9         |    |            |             |

全国平均 100



「地方から首都圏の大学へ進学」することを想定すれば、当然、莫大な生活費（特に高額な家賃費）がかかります。しかし、首都圏では  
ない「地方の大学へ進学」することを想定すれば、ひとり暮らしにおける住居費を大幅に安価に抑えることができます。

東京

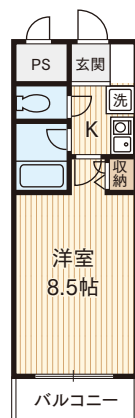


### 東京都世田谷区 「千歳烏山駅」近くの物件

- 1K（洋6.7帖／21.24㎡）、2階、バス・トイレ独立、バルコニー、収納スペース、エアコン、玄関収納、室内洗濯機置き場、築22年、鉄骨造。
- 駅まで徒歩7分、大学まで電車で7分。
- **1ヵ月の家賃7.5万円**（敷金1ヵ月、礼金1ヵ月）

1ヵ月家賃  
**4万円の差**  
4年で  
**200万円の差**

鳥取



### 鳥取県鳥取市 「鳥取大学駅」近くの物件

- 1K（洋7.3帖／20㎡）、2階、バス・トイレ独立、温水洗浄便座、バルコニー、エアコン、オール電化、室内洗濯機置き場、IHヒーター、ネット無料、駐輪場、敷地内駐車場、築21年、鉄骨造。
- 徒歩で大学まで1分、駅まで5分。
- **1ヵ月の家賃3.7万円、共益費0.3万円**（敷金1ヵ月、礼金1ヵ月）



## ②生活費

地方の生活の  
いいところ！

地方には、家賃が安価だけではなく、  
それ以上に良いことが沢山あります！！

(グラフのデータは、令和3年度「鳥取大学学生生活実態調査報告書」によるものです。)

Time  
is  
Money!

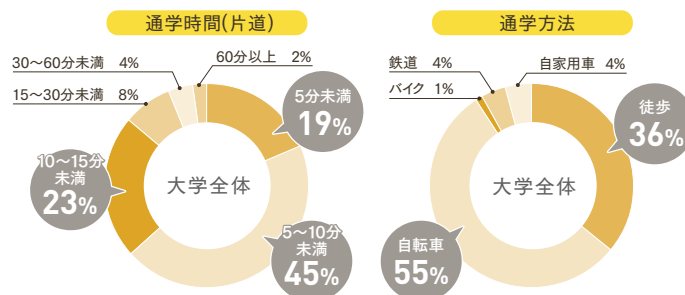


### ① 通学が楽！

地方には、都会のような「通勤・通学ラッシュ」「満員電車」「定期券」という概念自体が存在しません。地方では、大学周辺の隣接地域にアパート・マンションが数多く立ち並びます。そのため、「電車に乗って通学」ではなく、近くの大学へ「徒歩または自転車で行く」ことが当たり前です。これは、**通学にかかる「費用」がかからないだけではなく、通学にかかる「時間」も短縮できます。**通学に片道1～2時間(往復で2～4時間)程かかることは都会では当たり前かもしれませんが、地方であれば、片道5～15分(往復10～30分)程度が当たり前です。大学と家の距離が近いことで、**授業の空きコマを活用して、家に帰って洗濯・料理・食事・昼寝をすることも可能**です。

鳥取大生  
の場合

- 片道の通学時間は、大学まで5分未満(19%)、5～10分未満(45%)、10～15分未満(23%)で、約9割の学生が15分未満で通学しています。
- 通学方法は、徒歩(36%)か自転車(55%)です。



### ② 生活がしやすい！

都会の人は「地方＝田舎」と思いがちですが、地方は生活圏と自然圏が分かれています。**人が住み生活する地域は、地方のほうがコンパクトです。**生活圏を少し離れれば、すぐに自然豊かな田園地帯や中山間地が広がっているのが地方です。都会では最寄駅からバスがなければ通えない、不便な場所にある大学もありますが、地方の場合、街の中心部や生活圏に位置する大学が多いです。

鳥取大  
(鳥取市)  
の場合

大学を中心に半径2kmが学生の生活圏です。

大学から半径2km以内に、コンビニエンスストア(12店舗)、スーパー(4店舗)、病院(9医院)、歯科(6医院)、薬局・ドラッグストア(12店舗)、郵便局(5局)、JR駅(2駅)、空港や長距離バス停の他、飲食店も近くに多数あります。自転車があれば10分未満で行けるところで、たいいていの用事を済ませることができます。(学内にゆうちょ銀行のATM有)

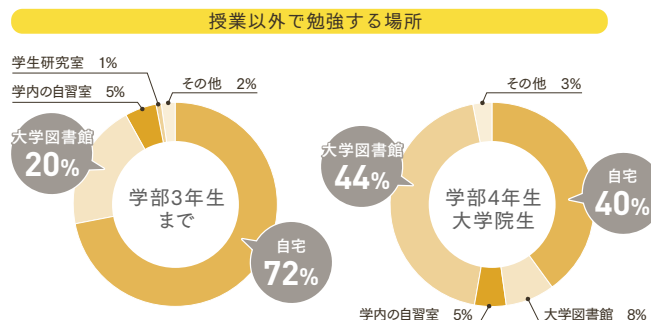


### ③ 勉強や研究に集中できる！

大学生の本分は、**アルバイトではなく、「勉強と研究」**です。地方には、都会のように流行を追ったお店や遊びの店舗はあまりありません。学生は日々、大学と家を往復しながら、無駄な時間をつくることはありません。勉強と研究に没頭できる環境こそ、地方の大学の魅力です。また、勉強に集中できずに他の活動にのめり込んでしまう学生は、大学が集中する都会には数多くいますが、地方には大学自体がそもそも少なく、**真面目な気質の学生が多いのも特色**です。

鳥取大生  
の場合

新型コロナウイルスの影響により自宅が圧倒的に多いですが、大学図書館も3年生以下の学生の1/5が普段から利用しています。大学図書館の開館時間は通常期が8:40～23:00と利用しやすくなっています。また、4年生以上では、多くの学生が研究室で卒業論文、修士論文等の研究を行っています。





## 03.

## 大学生の現状〔収入面〕—— ①概要

現在の大学生の「収入面」はどうなっているのでしょうか。

| 区 分 |    | 家庭からの給付(仕送り) | 奨学金     | アルバイト   | 定職収入・その他 | 収入総額      |
|-----|----|--------------|---------|---------|----------|-----------|
| 国立  | 自宅 | 589,000      | 181,400 | 354,000 | 29,600   | 1,154,000 |
|     | 下宿 | 1,164,100    | 317,500 | 320,800 | 50,000   | 1,853,000 |
| 公立  | 自宅 | 518,100      | 252,500 | 360,500 | 28,600   | 1,160,000 |
|     | 下宿 | 981,300      | 436,600 | 367,000 | 40,500   | 1,825,400 |
| 私立  | 自宅 | 1,020,400    | 356,800 | 407,200 | 36,100   | 1,731,700 |
|     | 下宿 | 1,637,100    | 464,900 | 334,600 | 60,400   | 2,497,000 |
| 平 均 |    | 1,144,700    | 373,200 | 366,500 | 43,200   | 1,927,600 |

(単位:円)



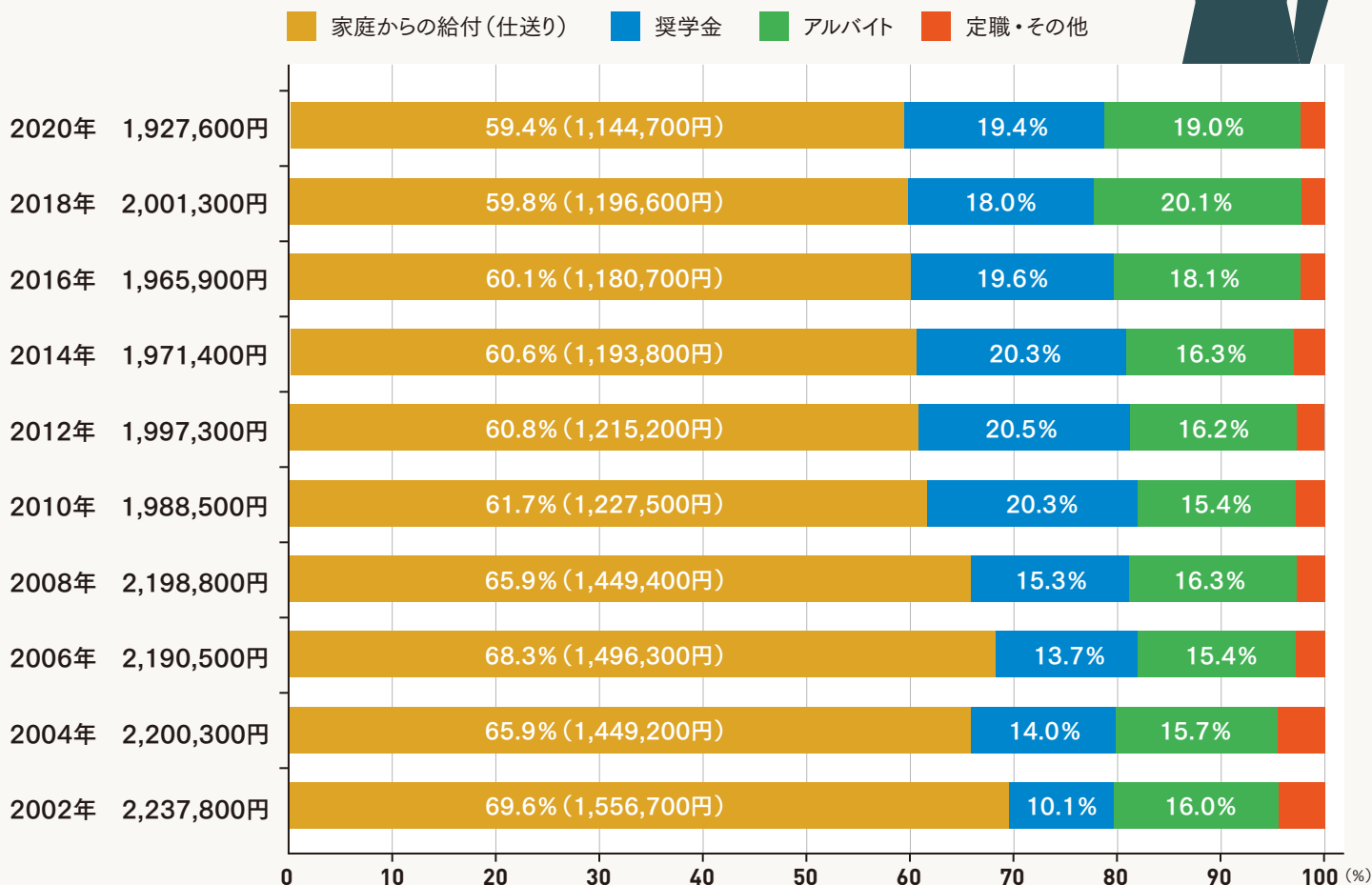
大学生の収入は、「国立」「公立」とも「自宅生」で約115万円、「下宿生」で約185万円でした。一方、「私立・自宅生」で約173万円「私立・下宿生」で約250万円必要です。

## 10

## 大学生の現状〔収入面〕

日本学生支援機構(JASSO)が2年毎に実施している『生活実態調査』によると、大学生の収入は、国立・公立・私立のそれぞれ自宅生・下宿生の収入総額と内訳は、上の表の通りでした。さらに2020(令和2)年から2002(平成14)年まで遡ったグラフは下の通りです。「家庭からの給付(仕送り)」の金額と割合が減少する一方、「奨学金」の割合は増加しています。2002(平成14)年では、「家庭からの給付(仕送り)」が7割、「奨学金」は1割でしたが、2020(令和2)年では、「家庭からの給付(仕送り)」が6割、「奨学金」は2割と大きく変化しています。また、収入総額も20年前と比較して1割以上も減少しています。

〔収入〕=  
①仕送り+  
②奨学金+  
③アルバイト

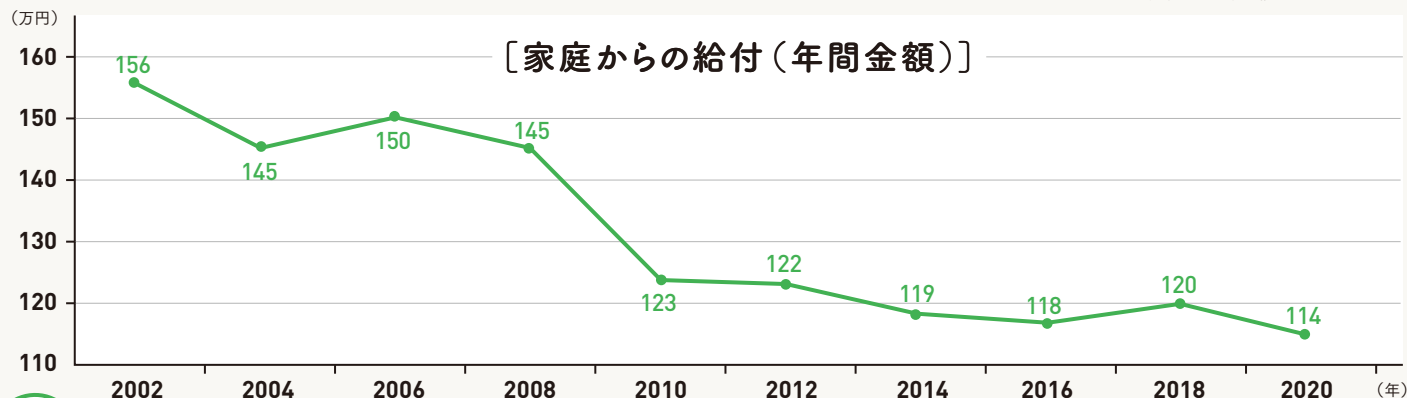


# ①仕送り

## 大学生への「家族からの給付（仕送り）」はどうなっているのでしょうか。

下のグラフは約20年間の「家庭からの給付（仕送り）」について、日本学生支援機構（JASOO）の調査結果です。20年ほど前は156万円（1ヵ月13万円）だったのが、直近の2020（令和2）年では114万円（1ヵ月9.5万円）と、**1ヵ月あたりで10万円を切っている状況**です。

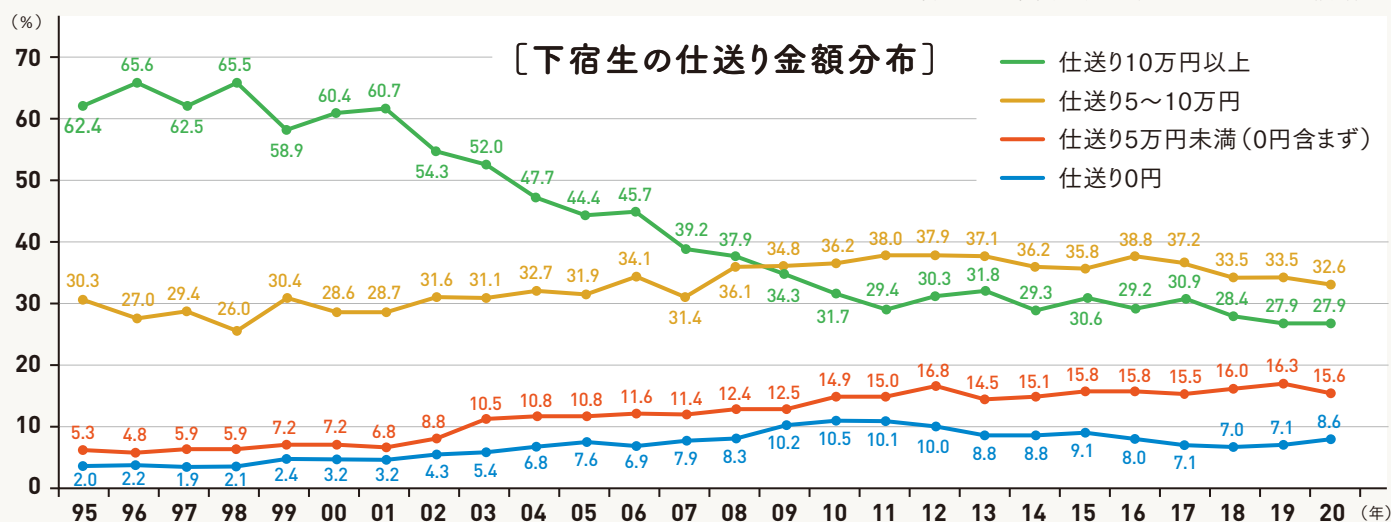
日本学生支援機構 学生生活調査より



**! CHECK** 2000年前後に150万円を超えていた、家庭からの給付（仕送り）は、近年、120万円以下に減額傾向。

全国大学生協共同組合連合会は、大学生の学生生活に関する『学生生活実態調査』で、仕送り金額（1ヵ月あたり）の違いを区分にして時系列で調べています。以下のグラフです。「仕送り10万円以上」の割合が2001年までは約6割以上でしたが、急激に低下傾向にあり、近年では約3割となっています。「仕送り5万円未満」と「仕送り5～10万円」の層が増加傾向となっています。

全国大学生協共同組合連合会 第56回学生生活実態調査報告書より

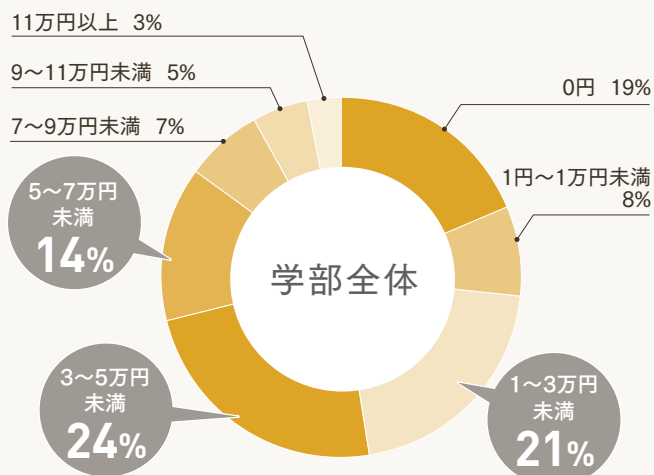


### 鳥取大生の場合

#### 5万円未満の仕送りで、7割以上の学生が生活

2021（令和3）年度『鳥取大学学生生活実態調査報告書』の「家族等からの仕送り（月額）」を確認すると右のグラフになります。

学生の中で最も多い割合の仕送り額は「3万円～5万円未満」24％でした。次に「1万円～3万円未満」21％で、「0円」も19％でした。鳥取では家賃等の物価が安いので、仕送り額が少なくなっていると思われます。



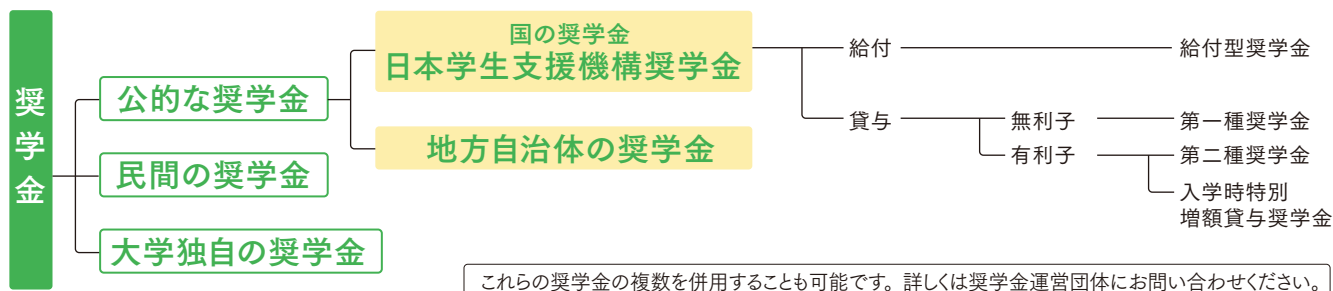
## (1) 奨学金制度と種別

「奨学金」＝「大学生活を送るのに必要なお金をタダでもらえる」と考えてはいけません。奨学金には、「貸与」と「給付」の2種類があります。この点をまず、注意しましょう。

「給付」とは、「お金を支給する」ことであり、返済は不要ですが、支給の諸条件が厳しく案件自体が少ないです。

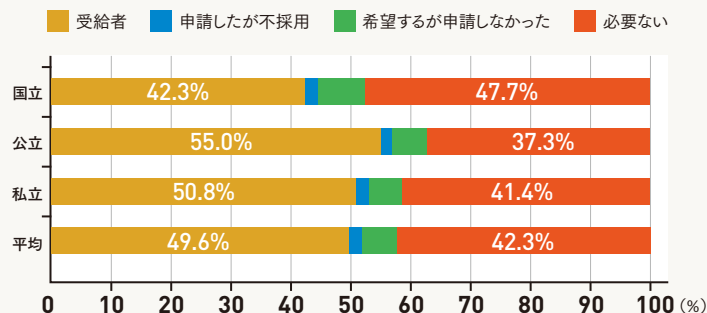
「貸与」とは、「お金を貸し与える」つまり「返すことを条件にお金を貸す」ことであり、返済が必要です。

奨学金制度には公的な奨学金、民間の奨学金、大学独自の奨学金があり全体としては以下のようになっています。



日本における奨学金の多くは、日本学生支援機構（JASSO）の奨学金です。2021（令和3）年度の予算事業規模は、「給付・貸与金額約1兆円」、「給付・貸与人員は127万人」です。また、「給付型奨学金」の2021（令和3）年度予算額は2,341億円です（授業料等減免は2,463億円）。

日本学生支援機構（JASSO）が2年に1度、全国の大学生を対象に実施している『学生生活調査』の2020（令和2）年度の結果によると、「奨学金の受給」は大学生平均で49.6%と約2人に1人が利用しています。



## (2) 日本学生支援機構（JASSO）奨学金の貸与額

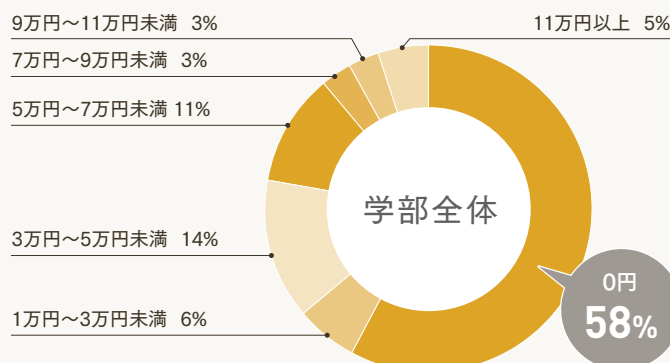
| 給付型奨学金       | 返還不要          | 給付月額<br>〈第Ⅰ区分〉(住民<br>税非課税世帯、<br>年収目安270万<br>円以下)の場合 | 国公立・自宅                            | 2.92万円(3.33万円)        |
|--------------|---------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|
|              |               |                                                     | 国公立・自宅外                           | 6.67万円                |
|              |               |                                                     | 私立・自宅                             | 3.83万円(4.25万円)        |
|              |               |                                                     | 私立・自宅外                            | 7.58万円                |
| 第一種奨学金       | 返還必要<br>(無利子) | 貸与月額                                                | 国公立・自宅                            | 2万円・3万円・4.5万円         |
|              |               |                                                     | 国公立・自宅外                           | 2万円・3万円・4万円・5.1万円     |
|              |               |                                                     | 私立・自宅                             | 2万円・3万円・4万円・5.4万円     |
|              |               |                                                     | 私立・自宅外                            | 2万円・3万円・4万円・5万円・6.4万円 |
| 第二種奨学金       | 返還必要(有利子)     | 貸与月額                                                | 2万円～12万円(1万円刻み)                   |                       |
| 入学時特別増額貸与奨学金 |               | 貸与額                                                 | 10万円～50万円(10万円刻み)(入学前の貸与ではないので注意) |                       |

\* 給付型奨学金の金額でカッコ内は、生活保護(扶助の種類を問わない)を受けている生計維持者と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学する人のものです。

\* 給付型奨学金の対象者で、第II区分(年収目安300万円以下)、第III区分(年収目安380万円以下)の給付月額は、第I区分のそれぞれ2/3、1/3となります。

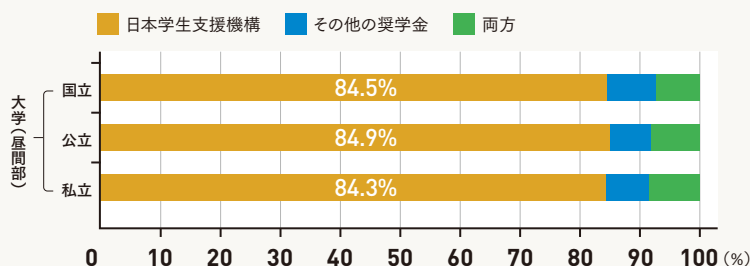
### 鳥取大生の場合

2021（令和3）年度『鳥取大学学生生活実態調査報告書』によると、学生の奨学金貸与月額は、「3万円～5万円」14%、「5万円～7万円」11%が多い割合です。



### 鳥取大生 の場合

日本学生支援機構(JASSO)奨学金の利用状況(2020(令和2)年度実績)を確認すると、合計で2,583件でした。内訳は、第一種1,154件、第二種952件(うち併用は275件)、給付型477件でした。一方、地方公共団体と民間育英団体等による奨学金(貸与型・給付型)は合計276件でした。なお、鳥取大学独自の給付型奨学金貸与者は869名でした。



### (3) 日本学生支援機構(JASSO)奨学金申込前の確認事項

- 「奨学金」の借り主は、子ども自身であり、親ではありません。申込手続き前に、「奨学金は返済義務がある」ことを当事者である、子どもに理解させましょう。
- 日本学生支援機構(JASSO)の『奨学金の返還者に関する属性調査結果(2019(令和元)年度)』によると、「奨学金の返済義務があることを申込手続き前に知った」割合は、無延滞者では約9割なのに対して、延滞者は約半数です。延滞者のうち、約半数が申し込み時に返還義務を知らなかったことになります。また、延滞者ほど、親の書類作成率が高くなっています。
- 日本学生支援機構(JASSO)の奨学金は、高校3年次の「予約採用」と進学先の大学での「在学生採用」と2度の申込の機会があります。予約採用は高3の5～6月と10～11月に行われます。高3の4～5月の時期に、高校で開催される奨学金の説明会に参加しましょう。
- 日本学生支援機構(JASSO)の第一種奨学金は無利子(利息がつかず借りた元本のみを返済)ですが、第二種奨学金は有利子のため、元本と利息を支払う必要があります。利率は上限3%、2021(令和3)年10月貸与修了者では、利率固定方式で0.268%、利率見直し方式で0.004%です。(最新の情報は日本学生支援機構(JASSO)のHPでご確認ください。)
- 奨学金の返還には、長期間の時間を要します。社会人になってからの毎月の返済額と返済期間を、事前に確認しておきましょう。
- 一番の大きな心配は、返還ができない状況になった時です。延滞している割賦金の額に対し、返還期日の翌日から返還日までの日数に応じて、年(365日当たり)5%を乗じて計算した額の合計額が賦課されますので、注意が必要です。

#### [返還義務を知った時期]

延滞者(1,981人)



無延滞者(1,447人)



#### [奨学金申請時の書類作成者]

延滞者(2,000人)



無延滞者(1,447人)



#### [第二種奨学金を借りた場合の返済について]

| 貸与月額     | 4年間貸与総額    | 年利 | 返還総額       | 返還年数 | 返還回数 | 返還月額    | 完済時年齢 |
|----------|------------|----|------------|------|------|---------|-------|
| 30,000円  | 1,440,000円 | 1% | 1,543,214円 | 13年  | 156回 | 9,892円  | 35歳   |
|          |            | 2% | 1,650,545円 |      |      | 10,580円 |       |
|          |            | 3% | 1,761,917円 |      |      | 11,294円 |       |
| 50,000円  | 2,400,000円 | 1% | 2,597,188円 | 15年  | 180回 | 14,428円 | 37歳   |
|          |            | 2% | 2,803,404円 |      |      | 15,574円 |       |
|          |            | 3% | 3,018,568円 |      |      | 16,769円 |       |
| 80,000円  | 3,840,000円 | 1% | 4,257,117円 | 20年  | 240回 | 17,737円 | 42歳   |
|          |            | 2% | 4,699,817円 |      |      | 19,582円 |       |
|          |            | 3% | 5,167,586円 |      |      | 21,531円 |       |
| 100,000円 | 4,800,000円 | 1% | 5,321,420円 | 20年  | 240回 | 22,172円 | 42歳   |
|          |            | 2% | 5,874,754円 |      |      | 24,478円 |       |
|          |            | 3% | 6,459,510円 |      |      | 26,914円 |       |



- 日本学生支援機構（JASSO）の奨学金の受取時期は、大学入学後の4月下旬～ 7月になるため、奨学金では「入学金」と「授業料（1年前期）」を支払えない場合があります。
- 大学受験にかかる費用（受験料・移動費・宿泊費）、入学金、アパートの賃貸契約にかかる経費（契約費・敷金・礼金等）、ひとり暮らし生活用品購入代、授業料、教科書購入代等は、奨学金の受取前に発生します。受験から入学までにかかる費用を賄うために、奨学金とは別のお金が必要となります。

## 〔金融機関の教育ローン〕

大学進学にかかる費用を、事前に準備する方法として、奨学金とは異なるものとして、「教育ローン」があります。教育ローンは、教育費に使用用途を限定した、金融機関による融資のことです。「奨学金」と「教育ローン」の違いは、大きく6点あります。

- ① 奨学金の借り主・返済主は「子ども」ですが、教育ローンの借り主・返済主は「保護者」です。
- ② 奨学金は申込時期が定められていますが、教育ローンはいつでも申込可能です。
- ③ 奨学金は大学入学後でないと利用できませんが、教育ローンはいつでも利用可能です。入学金・授業料だけでなく、受験費用や入学準備金にも使えます。
- ④ 奨学金は毎月一定金額が振り込まれますが、教育ローンはまとまった額が一度に振り込まれます。
- ⑤ 奨学金の返済は大学卒業後ですが、教育ローンは借りた翌月から返済が始まります。
- ⑥ 奨学金の利息は在学期間中発生しませんが、教育ローンの利息は借りた時点から発生します。

## ・国の教育ローン（日本政策金融公庫による教育ローン）

※詳細は日本政策金融公庫のHPで確認下さい。

「日本政策金融公庫」は公的な金融機関である、教育一般貸付の金利は【年1.65%】（固定金利・保証料別、令和4年2月18日時点）です。最大借入金額は【350万円】で、返済期間は【15年以内】です。

民間の金融機関の教育ローンとの違いは、所得の少ない方が低金利で利用できる点です。母子家庭、父子家庭、交通遺児家庭、世帯年収200万円（所得132万）以内の方または子ども3人以上の世帯かつ世帯年収500万円（所得356万円）以内の方の場合、金利は【年1.25%】で、返済期間は【18年以内】で利用が可能です。

## （5）地方国立大学における独自の給付型奨学金

※詳細は大学HPで確認下さい。

地方国立大学においても、各大学で独自の給付型の奨学金を設けています。以下に2大学の給付型奨学金の具体的な事例をご紹介します。

鳥取大  
の場合

### 優秀学生育成奨学金

10万円／4名

学業成績、スポーツ・芸術、社会貢献活動に優れた者

### 正光奨学金

8万円／15名

学業優秀でありながら、経済的理由のため修学が困難な者

### とりりん奨学金

3万円／50名

経済的理由のため修学が困難な者

新潟大  
の場合

### 輝け未来!!新潟大学 入学応援奨学金

40万円／50名以内

現役受験者で評定平均値3.5以上、推薦または一般・前期に出願し合格したら入学を確約でき、世帯の前年収入・所得の合計が収入基準額以下であること。（入学前給付）

## （6）地方自治体・公益法人・企業等の独自の給付型奨学金

都道府県・市町村・各種教育委員会、公益法人・企業によるもの等、数多くの給付型奨学金が存在します。資格や条件、支給金額や支給期間、人数等も多種多様です。給付型奨学金研究会編『大学進学のための全国“給付型”奨学金データブック[最新版]』（産学社）には、様々な給付型奨学金が掲載されています。お子さまにあう奨学金を探すにあたり、参考となるでしょう。また、大学在学中にも各種奨学金の募集が案内されますので、大学からの情報をご確認ください。

## ③ アルバイト

### (1) 全国の大学生のアルバイト状況

日本学生支援機構(JASOO)の2020(令和2)年『学生実態調査』の「アルバイトの従事状況」によると、調査前の1年間に於いてアルバイトに従事した経験のある大学生は80.7%と多くの学生はアルバイトを経験しています。また、アルバイト経験者に授業期間中におけるアルバイト回数を尋ねたところ、平均で「週3回以上」が46.4%、「週1～2回」が39.6%と、86%が定常的にアルバイトを行っていました。

| 区分          |    | 臨時的<br>(不定期) | 週1～2日 | 週3日以上 | 定常的  |
|-------------|----|--------------|-------|-------|------|
| 大学<br>(昼間部) | 国立 | 16.0         | 43.2  | 40.9  | 84.0 |
|             | 公立 | 13.0         | 38.7  | 48.3  | 87.0 |
|             | 私立 | 13.6         | 38.9  | 47.4  | 86.4 |
|             | 平均 | 14.0         | 39.6  | 46.4  | 86.0 |

\* 小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が合わない部分があります。

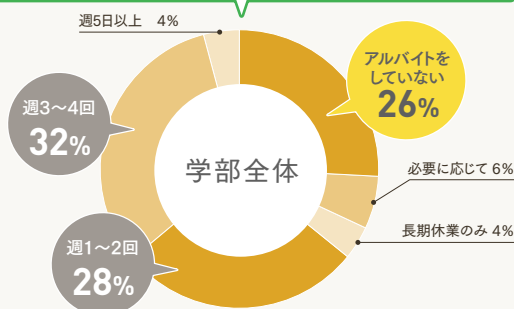
(単位: %)

### (2) 地方国立大生のアルバイト状況

#### 鳥取大の場合

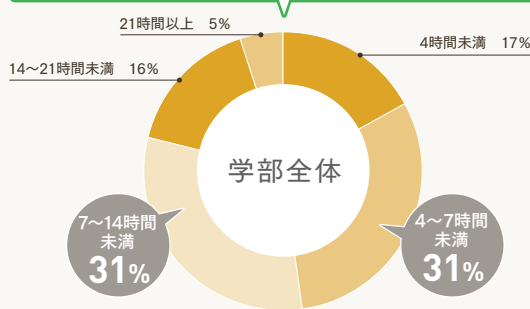
地方国立大学生のアルバイト状況を、鳥取大学の学部学生のデータからみてみましょう。2021(令和3)年度『鳥取大学学生生活実態調査報告書』によると、アルバイトに関する学生アンケートの結果は、以下のようになりました。

直近1年間にどの程度アルバイトをしましたか？



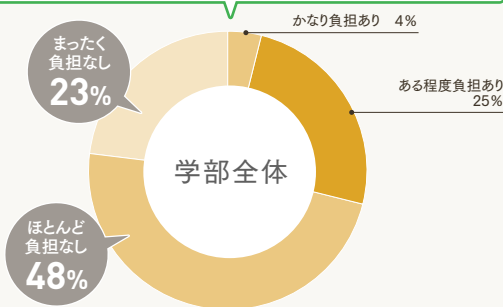
約3/4が経験

1週間平均何時間くらいアルバイトをしましたか？



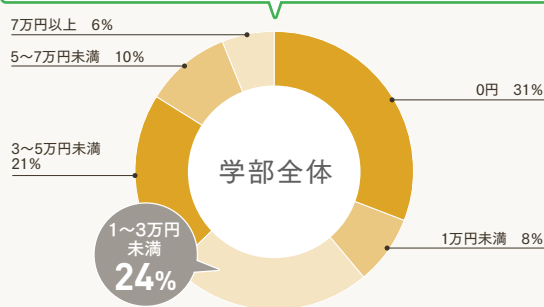
長時間勤務はごくわずか

アルバイトが修学上、負担になっていますか？



7割以上は負担感なし

平均的な月のアルバイト収入はいくらですか？



1～3万円が最多

### (3) 地方と都会の違い(メリット・デメリット)

#### 地方

- ・移動に時間もお金もかからない。
- ・「家」「大学」「アルバイト先」も大学の周辺。
- ・時給は800円台と安い。
- ・アルバイトの種類・選択肢は限られる。
- ・短時間で高収入を得る危険なアルバイトはない。
- ・アルバイト漬けの学生がほとんどいない。
- ・深夜の仕事が少ない。

#### 鳥取大生の場合

#### 都会

- ・移動に時間とお金がかかる。
- ・「家」「大学」「アルバイト先」が遠い。
- ・時給は1,000円以上と高い。
- ・アルバイトの種類・選択肢が豊富。
- ・短時間で高収入の危険なアルバイトも多い。
- ・アルバイト漬けの学生やフリーターが身近にいる。
- ・深夜の仕事も多い。

CHECK

アルバイトは、収入を得るだけでなく、社会と接点をもつことで、社会の厳しさやマナーを学ぶことができる貴重な機会です。しかし、アルバイトのやり過ぎ、強制シフト、賃金未払い等がないよう、注意が必要です。

## 保護者の皆さまへ

受験生にとって、志望大学への“合格”は、大きな目標です。  
 受験勉強を乗り切るための、大きなモチベーションです。  
 しかし、大学合格そのものは、人生のゴールでは決してありません。  
 大学に合格することを“目的化”するのではなく、  
 大学で「何を学び」、「何を修得し」、「何にチャレンジするのか」、  
 よく考えて、受験に臨んでほしいと願っています。  
 合格や入学はゴールでなく、学ぶことやチャレンジすることの  
 スタートラインによやくたどり着いたところではあります。

「なんとなく、大学へ進学」

「みんなが受験するから、自分も大学」

「学びたいことは特になければ、とりあえず」

上記のような理由で進学してしまうと、進学した本人や保護者の皆さまのみならず、  
 進学先の大学にとっても、送り出す高校にとっても、良いことはありません。  
 自分の意志がないことは、大学進学の意味を考えていないのと同義です。

大学入学後、

「大学がおもしろくない」「授業よりもアルバイトを優先してしまおう」「大学でやりたいことなんか、みつからない」  
 といった学生は、どの大学でも、若干名あらわれています。

これまで一生懸命に勉強して、大学に合格しても、  
 高額の入学金と授業料を支払い、念願の大学に入学しても、  
 アパートをみつけ、ひとり暮らし用の生活用品一式をそろえたとしても、  
 結果的に大学生としての目的を見失い、大学をやめてしまう学生もいます。

せっかく、合格して入学したのに、いったい何のために大学生になったのか。何がしくて、大学生になったのか。  
 合格してから考えるのではなく、大学を受験する前の高校生である今だからこそ、考えてほしいと思います。

「どうして、その大学に進学したい？」

「大学でどんなことを学び、どんなことを研究したい？」

「大学生活を通じて、どんなことにチャレンジしたい？」

保護者の皆さまは、本人とじっくりと向き合う「時間と機会」を、ぜひ設けてください。  
 本人の意志を確認・尊重し、大学進学を親子で共有した上で、応援していただきたいと思っています。

もし、「奨学金(貸与型)」を大学生の時に利用したら、借りたお金は大学卒業後、返さねばなりません。

奨学金(貸与型)の借り主は、お子さまであり、保護者ではありません。

自分で借りた大学進学を費用を、自分で返済していくためにも、高い志を持って大学へ進学してほしいと願っています。

